

ちばけん公民館 スタッフニュース



提供：国土交通省関東地方整備局東京湾口航路事務所



富津市おもてなし
キャラクターふつつん

わがまちじまん!! 富津市「第二海堡上陸ツアー始動」



富津市は、房総半島の中西部東京湾側に位置し、南北40キロメートルに及ぶ海岸線と、緑豊かな鹿野山や、切り立った崖の鋸山など、海や山に囲まれた自然豊かなまちです。

東京湾に突出した富津岬は、関東の天の橋立といわれ、南房総国定公園にも指定される風光明媚な岬です。

ここから東京湾越しに望む富士山は絶景で、関東の富士見百景に選ばれています。

また3月から始まる潮干狩りや、夏の海水浴など、県内外から多くの皆さんに訪れていただいています。

富津岬沖には、首都防衛のために造成された2つの人工島の海堡がありますが、最近のヘリテージングブームを受け、令和元年9月から「第二海堡」への富津発の上陸ツアーが本格的に始動しました。

第二海堡は国土交通省が所有し長い間立ち入り禁止となっていたことが、横須賀市や旅行会社協力のもと上陸ツアーが実現したものです。

富津市の出発地付近には、県立富津公園があり、ここは、子どもから大人まで楽しめる公園としての一面と、貴重な軍事的遺構が多く残されているという2つの顔を持ち、海堡上陸ツアーに併せ公園内の遺構をめぐることもできます。

そして、昼食には、富津近海でとれた魚介類を中心に使った「ふつつ海堡丼」、特産の海苔などの地元で採れる食材を使った、季節を感じる様々な味覚を楽しむことができます。

だんだんと暖かくなってきましたので、富津市で一足早い春を感じてみませんか？お待ちしております。

日頃の地域学習活動への貢献が評価されました!

君津市小糸公民館・ 市原市立八幡公民館が、 平成30年度文部科学大臣表彰 「優良公民館」を受賞しました

文部科学省では、全国の公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を「優良公民館」として、文部科学大臣が表彰しています。

平成30年度に全国約1万4千の公民館から65館が表彰され、千葉県からは君津市小糸公民館・市原市立八幡公民館の2館が受賞しました。

各館の活動をご紹介します。

■小さな自治を育む「小糸プレイルーム」 君津市小糸公民館 ☎0439-32-2184

小糸公民館は、昭和46年に開館して以来、住民の学びを支え、地域の実態に合わせた活動を展開してきました。特に、婦人会等地域団体と協働しながら、地域が持つ力を育てることに重点を置いてきました。

近年の特徴的な活動として、平成13年に併設した「小糸プレイルーム」(ひなたぼっこ)を核にした事業展開が挙げられます。開設当初からプレイルームの設計検討に関わった委員らがその

後も利用者組織「プレイルーム運営委員会(ひなたぼっこ隊)」として、季節に応じた装飾替えやイベント(おしゃべりティータイム)、通信発行、環境整備など主体的運営を行ってきました。

平成19年以降「つどいの広場事業」(厚生省地域子育て支援拠点事業)により、常駐スタッフ「広場サポーター」が配置されるようになり、さらなる子育て支援拠点としての発展を目指し、夏休みゲーム大会や映画会など子ども向けのイベントやママが先生役になって教える「ママチャレンジ」、大人が絵本に親しむ「絵本café」、



ひなたぼっこ隊による装飾づくり



子育て講座

子が自ら育つ力を考える「子育て講座」など大人が学び交流する機会をつくってきました。さらに、高校生の育児・職業体験の場づくりや、子育て支援担当課と連携を図るなど、切れ目の無い子育て支援に取り組んでいます。

長年の地域団体との関わりを基盤に、これらの新たな活動は家庭教育学級等と結びつき、新たな活動団体が発足するなど住民自治の力を高める場となっています。

■郷土を愛する「八幡史学館」の紹介

市原市立八幡公民館 ☎0436-41-1984

八幡公民館は、東京湾を望む内房の八幡地区に昭和23年6月に県下2番目の公民館として、戦後復興と町づくり、人づくりを旗頭に開館しました。昭和47年に現在の地に改築移転、さらに昭和61年に体育室等の増設等、地域とともに成長してきました。

かつて八幡地区は、水陸交通の要衝として発達した歴史と文化の街です。主催事業の「八幡史学館」は、地区の歴史資料を掘り起こし、その背景を学ぶことにより、郷土への理解と愛着を深めることを目的としており、平成18年度から実施している事業です。地区に残された建築・文化遺産、古文書などは貴重なものが多く、内容も充実しています。毎年参加者が多く、受講者の「学びたい」という意識が高いので、ニーズに応えられるように企画しています。

今年度は14シリーズ目となり、講座の後、特



高校生による保育ボランティア体験



飯香岡八幡宮の「茅の輪くぐり」

別企画として「八幡歴史散歩」と銘打って、飯香^{いいが}岡八幡宮の宝物殿やかつて江戸への地元産物輸送に活躍した五大力船^{ごだいきせん}の発着場であった八幡海岸をめぐる催しを企画し、たいへん好評でした。

これからも、おとなはもちろん、地元小中学校生徒が「まちたんけん」や「職場体験」などで公民館を訪れた際にも地区の歴史をお話しし、郷土への愛着を深めていければと考えています。



貴重な資料説明「江戸時代の八幡村」



八幡海岸のかつての「濱」

まちより むらより、

船橋市中部ブロック4館合同事業! めざせ!未来のロボット博士!

船橋市高根台公民館 ☎047-461-7061

船橋市には、全26公民館があり、5ブロックに分かれています。各ブロックで年1回合同事業を行っており、今回はその中の中部ブロックで行われた事業について、ご紹介いたします。

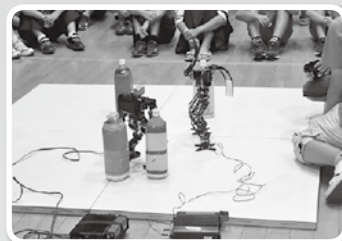
この事業は、千葉工業大学のロボット技術研究センター室長とロボット研究会の大学生を講師に招き、子どもたちが実際にロボットの操縦をしたり、最新のロボットについて学び、興味をもってもらうための事業です。

前半は、大学生が自分たちで作ったロボットを子どもたちに自由に操縦してもらいました。ロボット



は戦うことを目的にしたもので、設置したペットボトルを倒そうと子どもたちは必死に操縦し、操縦者以外の子どもたち

も応援で盛り上がりました。デモンストラレーションで大学生同士での戦いも見てもらい、様々な動きに、子どもたちは目を惹かれていました。



後半は、室長が最新のロボットについて、映像を混じえ、子どもたちに紹介しました。災害場所に偵察に行くロボットや、人間のような動きをするロボット、最新のロボットたちに子どもたちは驚き、関心をよせていました。

質問時間ではロボットについて、多くの質問がでて、子どもたちの興味を引くことができたと感じました。将来、ロボットを作りたいという声もでていました。

参加者に楽しみながら、最新のロボットに興味を持ってもらうことができ、満足のいく事業になりました。

アビコなんでも学び隊

我孫子市我孫子地区公民館 ☎04-7182-0511

「作ろう! 考えよう! やってみようよ」を合言葉に、平成23年に3講座からスタートした「アビコなんでも学び隊」は、現在年間16講座を開設しています。内容によって小学生から中学生を対象に15人から24人を定員として半日の講座から5日間の講座まで、土曜日・夏休み期間中に開催しています。

ほとんどの講座が抽選となり大変人気が高い講座で、内容は「①ROBOLABプログラミング教室～光センサーを使ってプログラミングしよう～」



「②五つの味の世界～プロのシェフに学ぼう～」

「③伝統の美・友禅染～プロに学ぶ日本の技～」

「④⑤磁石とコイルのパワーを探れ」

「⑥生命の不思議発見～メダカのひみつ～」



「⑦科学で遊ぼう」

「⑧あらふしぎ? カガミを使わない万華鏡」

「⑨My 望遠鏡で月を見よう!」

「⑩ROBOLABプログラミング教室～車型ロボットを作って動かそう～」

「⑪卓球チャンピオンになろう!～基本からゲームまで～」

「⑫粉こねてピザを作ろう! (高校生とジョイント)」

「⑬トライサイエンス～探査機を宇宙に送ろう～」

「⑭パンでクリスマスブーツを作ろう!」

「⑮はじめての書初め」

「⑯ダブルダッチに挑戦!」などです。

講師は、その道の専門家やダブルダッチの世界チャンピオンなど多岐に渡っており、子どもたちのキラキラした眼差しと、ヤッター! の声がスタッフの「胸を熱く」します。

持ちより公民館だより

こどもまつり

長柄町公民館 ☎0475-35-3242

公民館の事業として9月8日(日)「こどもまつり」が開催されました。400名を超える来場者で賑わい、わなげ、ボウリング、しゃてき、スーパーボールすくい、ミニ四駆走行体験などのゲームコーナーで遊んだり、むかしあそびコーナーでお手玉やけん玉の体験をしたり、かき氷の無料配布、ブ

ラックシアターの鑑賞やフェルト遊びなどをして、子どもたちも大変喜んでいました。暑い中、町青少年相談員、読み聞かせ、中学生ボランティアなどの皆様にご協力いただきました。今後も楽しい「こどもまつり」を開催できるように地域の皆様と協力し事業を展開していきます。



郷土の歴史についてやさしく学ぶ教室「鴨川の歴史を学ぼう」

鴨川市天津小湊公民館 ☎04-7094-2230

鴨川市は、千葉県の大偉人のひとりである日蓮上人、また江戸時代の名工として知られる波の伊八の生誕の地としても全国的に知られており、数多くの歴史的文化財を有する市でもあります。そこで、広く市民に身近な地元の歴史について親しみや興味を持ってもらうことを目的に、天津小湊公

民館では、郷土の歴史書「鴨川市史」に基づき、わかりやすく鴨川の歴史を伝える講座「鴨川の歴史を学ぼう」を開催しています。昨年度は、市内の天津小湊、鴨川、長狭、江見の各地区ごとにテーマを決め天津小湊地区の「家の周りのお寺や神社を知っていますか?」にはじまり、鴨川地区の「海活～海とともに生きる」、中央政権が代わるごとに鴨川の領主も代わっていたことに着目した、長狭地区の「政権交代＝領主交代」さらに江見地区の「意外なあの人がおらが村のお殿様」といった具合に演題もユニークな4回の講座を開催しました。講師は同市郷土資料館学芸員の高橋誠氏で、ユーモアを交えた軽妙なトークが好評で人気も高く、各回とも多くの受講生が会場のふるさとシアターに訪れました。

今年度は「あなたの知らない鴨川の大偉人」をテーマに2回の講座を計画し、数多くの参加を見込んでいます。今後も公民館の看板事業として、さらなる展開を期待しています。



シリーズ・県内の

元気館

習志野市生涯学習複合施設がオープン

プラッツ習志野  プラッツ習志野
platz narashino city
☎047-476-3213(代表)



京成大久保駅のすぐそばに新しい施設が生まれました。

正式名称は、習志野市生涯学習複合施設。

愛称は「プラッツ習志野」です。

「プラッツ」はドイツ語で「広場」のことです。

さまざまな人が出会い、つながり、未来へ向けたあたらしいまちづくりが始まるという願いを込めています。

プラッツ習志野は、公民館、図書館、ホール、体育館、公園、野球場、テニスコート、パークゴルフ場が一体となった複合施設です。

習志野市の生涯学習の拠点として、あらゆる世代の出会いを促進し、地域の活性化を図ります。

習志野市教育委員会と指定管理者「習志野大久保未来プロジェクト株式会社」が公と民の特性を活かし運営していきます。

特別を演出する市民ホール

旧市民会館が市民ホールへと生まれ変わり、ハレの日を演出するホールになりました。座席数は324



席(固定席290席、可動席34席)と発表会や交流会で使いやすいサイズのホールです。

新しい機能を持った公民館

中央公民館には和室・調理室・多目的室など、北館・南館合わせて23室を設置しています。これまでに習志野市の公民館にはなかった防音の音楽室が3部屋あります。



広いこどもスペース

お子さん専用の遊び場・学習の場として、こどもスペースを設けています。

午前9時から午後5時まで無料開放します。



明るく開放的な図書館

中央図書館の大きな窓からは、中央公園が一望できます。

令和2年7月にはこどもと中学・高校生のフロアや、視聴覚資料のコーナー、学習室なども整備されます。



誰でも使える体育館

旧勤労会館の体育館をリノベーション(刷新)し、どなたでもご利用いただける体育館となりました。



サークルの利用だけでなく、個人利用ができる日時も設けています。

住 所：習志野市本大久保3-8-19

電話番号：☎047(476)3213(代表)

アクセス：京成大久保駅から徒歩1分

駐車場：153台 駐車料金有料

(施設利用者は1時間まで無料)

ちばけん公民館
スタッフニュース

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会

委員長：杉山 敦彦(我孫子市生涯学習課)

ホームページ：http://kominkan.or.jp/05kenren/ken_hp/12_chiba/kenkouren/index.html

発行：千葉県公民館連絡協議会

印刷：エリート情報社